

日本共産党議員団を代表して請願第 2 号「北摂で一番高い上下水道料金の引き下げを求める請願」について賛成討論を行います。

2 点申し上げます。

1 つは、本市の財政状況と水道会計の状況からしても引き下げる努力を行うべきだ
という点であります。

この間昨年度の決算について審査が行なれました。その結果、本市の基金、貯金は前年度に比べ 3 億円減少したとはいえ、143 億円という基金があるということ。また「自治体としての運営に必要な財源に対して、税金など自前の収入でどのくらいまかなえますかという指標が大阪府下で一番高いということで、財政力は府下一番」だということでもあります。

そして水道会計は公営企業であります。この 15 年間、連続して黒字を記録しています。その結果、担当部長は、使い道はあると言われていますが、32 億円の現金預金を持っています。そして昨年度その預金から 18 億円を流用して、儲けようと計画しましたがやめたわけであり。本市はこの間北摂で一番高い状況がつづいていますが、今日の財政状況を皆さんにお話をしますと、「摂津市も将来を考えたら、簡単に引き下げはできないかもわからんけど、将来へのお金をきちんと計画した上で、少しでも市民に還元し、負担を軽くすべきではないか」というご意見が返ってきます。

今回、来年 4 月から、大阪広域水道企業団が府下市町村への供給単価を 1 m³あたり 3 円値下げすることになりました。本市としては 2115 万円の費用が減少することになります。この財源も活用して、ぜひ市民の負担軽減を検討すべきだと思います。

2 つ目は、市民の暮らしの状況からしても、引き下げを行うべきだという点であります。

先日いただいた「H28 年度市町村税課税状況等の調べ」一覧表では、働いている人の H27 年度の年間平均所得金額が、本市は府下では、市の段階で見ると、門真市、泉南市、大東市、松原市、泉佐野市について下から 6 番目、北摂では最低で 295 万 9 千円となっています。大阪府下で一番が箕面市で 399 万 5 千円、二番が豊中市で 390 万 5 千円、本市とは 100 万円ほど差があります。

この間、北摂の中でも料金改定が行われ、現在一番低いのは豊中市となっています。大阪府下で二番の豊中市が北摂で一番安い料金となり、府下で下から 6 番目の本市が最も高い料金という状態を放置して言い訳はないと思っています。

今、貧困と格差がどんどん広がり、この間 1997 年と 2012 年を比較すると民間での正規職員は 130 万減り、非正規職員は逆に 711 万増えるなかで「年収 300 万円未

満の働く貧困層」が今では6割近くまでひろがっています。

そんな中、摂津市の働く人の年間所得金額は平均で、1997年度に比べ、現在66万5千円減っています。どんどん大変になって来ている市民の暮らしを、しっかりと支えていく。そのために本市として努力することが、「市民に対する思いやりの発揮」ではないでしょうか。

本市では過去、私ができる範囲では、10年前と7年前に水道料金の引き下げが行われました。当時の財政状況には違いがありますが、全世帯に影響を及ぼす水道料金の市民負担に配慮して、引き下げが行われたと思っています。特に、10年前は、市長はじめ、職員の皆さんが「このままでは第2の夕張になる」と財政危機をあおっていた時期に、年間5700万円の減収になることを承知で水道料金の引き下げを行いました。

現在は先ほども触れましたが、「真逆」で大阪府下でもトップクラスの財政状況です。また、3年前に策定した本市の水道ビジョンは人口想定については2020年、8万人の旧来の数字を元にしています。

今後の老朽化した施設の更新費用や耐震化などで単年度黒字を維持するのは困難等々、引き下げ困難との理由を並べていますが、来年度策定する「経営戦略」において、水道ビジョンで示している「H65年度までの収益的収支」の数字の状況では、ちゃんと努力すれば市民負担軽減可能の範囲だと思いますので、ぜひ、北摂で一番高いという水準の解消に努めていただきたい。

8018人の市民の思いを受け止めて、この請願に答えるべきであり、重ねて、その努力を強く求め賛成討論とします。